

児童通所支援 ぽっとまむユニック 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表: 令和 7 年 3 月 14 日

事業所名: ぽっとまむユニック

職員数: 6人 回収率: 100%

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫 している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		50%	50%		活動内容により、ぽっとまむアクトを計画的に活用する。
	2 職員の配置数は適切であるか		33%	67%		既定の人員配置は確保しているが、子どもの実態に合わせて配置する。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	67%	17%	17%		建売住宅を改修して規定通りバリアフリー化しているが、必要に応じて改修する。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	50%	33%			年間計画を共有し、毎月全体ミーティングを行い、年度末反省を次年度に生かす。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	50%	33%	17%		アンケート集計結果の考察を共有する。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	67%	17%	17%		HPで公開していることを周知する。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		50%	50%		外部評価が必要か検討する。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	33%	50%	17%		毎月の全体ミーティングで話題提供をする。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	50%	17%	33%		年間計画に沿って、アセスメント・個別支援計画の作成・モニタリングを確実に実施する。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	83%		17%		アセスメントツールを周知する。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	83%	17%			毎月の全体ミーティングで、広く意見を取り入れる。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	67%	33%			子どもの課題や目的に合わせて、活動を工夫する。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	83%	17%			支援時間の長さの良さを生かした計画にする。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	83%	17%			1日の流れを考え、メリハリのある計画にする。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	83%	17%			朝とお迎え前の打ち合わせを確実にし、共通理解を図る。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	17%	67%	17%		時間的に難しい時は、報連相を徹底する。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	67%	33%			経過記録を入力し、引継ぎ事項を文書で共有する。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	83%	17%			毎月の全体ミーティングで共有する。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	17%	83%			ガイドラインを周知する。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫 している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	50%	50%			必要に応じて担当者会議の内容を共有する。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	83%	17%			学校HPの活用と、お迎え時の引継ぎを共有する。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/		必要に応じて実施する。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	33%	67%			必要に応じて実施する。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/		情報提供準備を進める。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	33%	67%			事業所内研修を計画する。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		17%	83%		必要に応じて計画する。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	33%	33%	33%		協議会参加時の成果を共有する。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	67%	17%	17%		連絡帳や送迎時の機会を有効に活用する。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	17%	67%	17%		必要に応じて実施する。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	17%	83%			利用者負担軽減に努める。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	50%	33%	17%		その都度迅速に対応する。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		67%	50%		必要に応じて検討する。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	50%	33%	17%		報連相を徹底する。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		67%	17%		ぼっとまむ通信発行の再開を検討する。
	35 個人情報に十分注意しているか	83%	17%			取扱いを徹底する。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	67%	17%	17%		必要に応じてツールを活用する。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33%	33%	33%		必要に応じて検討する。	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	50%	50%			各マニュアルの保管場所を周知する。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	83%	17%			年2回実施する。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	33%	50%	17%		虐待防止委員会の開催と、虐待防止研修を実施する。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	50%	50%			必要性と決定事項を共有し、実施状況を定期的に検証する。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	50%	50%			必要に応じて実施する。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	33%	50%	17%		その都度、迅速に対応する。

* 端数処理をしているので、すべてが合計100%にはなりません